

事業評価シート

事務事業名	文化財保護事業	担当課名	社会教育課
総合計画の 主要施策名	史跡・遺跡・文化財等の保全と保護	班名	歴史文化財班
		事業コード	4513

事業の目的	地域で埋もれている遺跡の記録保存を行い、歴史的財産を後世に伝える。発掘調査成果を報告会等で公表し、地域の成り立ちについての理解を深める。			
事業の内容	本堂城回地区発掘調査及び本堂城回地区、羽貫谷地地区詳細分布調査 県指定史跡「本堂城跡」の内容確認調査、町内文化財の保存管理			
事業の対象	町内文化財			
事業費	年度・区分	平成20年度決算	平成21年度決算	平成22年度予算
	金額	39,109 千円	22,531 千円	25,624 千円

事業の効果等	発掘調査を広く公表するため、町民を対象とした遺跡報告会を行った。約50名の参加があり、出土した土器等の展示を行って、郷土の歴史について理解を深めていただいた。また、本堂城跡は県史跡としては県内では初めての保存管理計画書の作成を行った。町指定文化財坂本東嶽邸については、近年明治期の農村づくりのモデルケースとして改めて注目されている。傷みがある収蔵品の保存修理を行ったほか、隣市の文化財の特別公開にあわせ、施設パンフレットの配布を行い、2日で約100名の来館があった。
--------	---

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
	増加	横ばい	減少	かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与していない	できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
判定説明 及び考察	ほ場整備事業の実施に伴う発掘調査が毎年あることから、他事業とのスケジュール調整が必要である。また、坂本東嶽邸は築後110年が経過しており、耐震化への備えが急務である。			
事業の 方向性	さらに重点化する 事業の縮小を検討する	現状のまま継続する 休止、廃止を検討する	見直しのうえ継続する	

外部評価	A	評価委員意見	部局評価のとおり。
------	---	--------	-----------